北九州テレビ Internet TV NEWS DIGEST
http://www.kitakyu.tv
お問合せ：info@kitakyu.tv
©北九州テレビ 2008

２００８．５．１７　第　　６１号

市制 45 周年記念事業

光のふしぎ展

～バーチャル世界への誘い～

開催記念アーチストトーク　開催！

主催：北九州イノベーションギャラリー

「光の時代である」
と語る 酒井館長

「今は、手書きの人が重要視されている」と語る 山内氏

「立体画像 TV、3D プリンターター」について語る 酒井氏

北九州イノベーションギャラリー（館長 酒井英孝氏「以下、ＫＩＧＳ」）では、春の企画展「光のふしぎ展」を 4 月 26 日から 6 月 29 日まで開催しているが、その企画展の一環として「開催記念アーチストトーク」を 5 月 17 日に開催し多くの視聴者で賑わった。

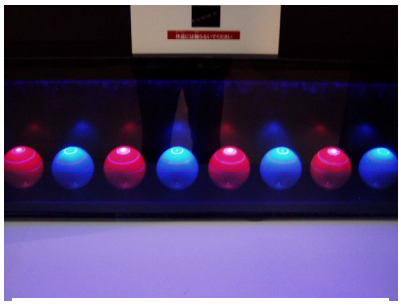
開催に先立ち酒井館長は、「本日は、美術を勉強なさっている学生さん、あるいはデザイナーの方、印刷に携わっている方等、光に関係のある皆様方、特に若い方々に多く参加して頂いています。現在、工業においても、通信の世界においても光の技術がなくてはならないような世の中になってきました。

本日は、テクノロジーアートと CG の世界で活躍中の山内哲也先生とホログラフィーの専門家である酒井朋子先生のお二人をお呼びしております。是非、光の不思議な世界をご覧頂くと共に、ご理解して頂ければと思っております」と挨拶を行った。

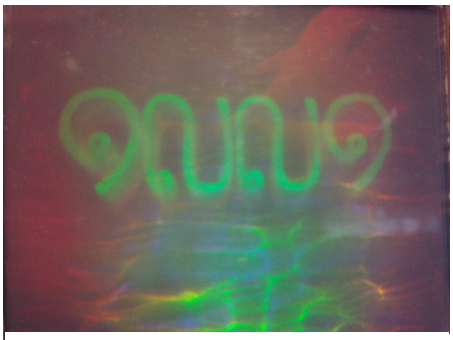
講演のなかで、山内氏は「私の作品は、難しい作品はありません。タネも仕掛けもあって、丸見えで光の移動で動いて行くという、錯視的、錯覚的なものを利用した作品が多い」と語った。また、CG を利用した作品紹介では“華麗なる一族”での撮影風景とその中で使用された CG の使い方を分かり易く説明し、その時の出演していた木村拓也氏他の役者の演技力を絶賛し、会場は驚嘆の声に包まれていた。

また、酒井氏は「ホログラフィーは、立体的に記録する技術であり、それを立体写真としたものがホログラムであります。また、ホロとは“完全”でありグラムとは“メッセージ”と言う意味で全てが記録されたものであります。そして、身近にあるものとして、クレジットカード、紙幣、パソコンの OS 商品のタグに使用されています」と説明を行った。

光のアニメーション／ウォーカー
(山内氏作)



ウォーターメロン(山内氏作)



カレンダー(酒井氏)